

松里公民館だより No12

令和 4年 3月

春はそこまで来ています

2月の降雪の後に、松里地区を散策していると、雪の下から福寿草の花が顔を出していました。今年の冬は寒さが厳しく、松里地区でも10cm程の積雪がありました。昨年より春の訪れが遅れていますが、着実に春は近づいています。

新型コロナウイルスの発生後、クラスター防止の観点から、この2年間はほとんどの公民館活動を中止していました。地域の皆様の御理解のおかげで、松里公民館利用者からは感染者が出ませんでした。御協力ありがとうございました。



福寿草



ねこ柳



ろう梅

卒業式・卒園式の季節になりました

松里中学校	3月10日(木)
松里・井尻小学校	3月23日(水)
松里保育所	3月12日(土)



「松里の昔ばなし」

今月は小屋敷・三日市場です

「禊塚と禊桜」

上小屋敷地区に郷社松尾神社があり、境内に禊塚の伝説が残っている。

日本武尊が時の天子の御命令で東国平定に向かわれ、雁坂を越えて酒折に行く途中、この地で一夜お休みになられた所と言われている。これを禊塚、この塚の上の桜を禊桜と呼ん

でいる。この塚は元、神社の東方にあったが、松里中学校建設の際運動場拡張のため、神社の東南方に移し現在塚石が建ててある

「七所参り」

松里地区が養蚕を農業の主体としていた頃の正月十四日の夜、七所参りが行われた。前日米粉で小さな団子を作り、居床の天井一ぱい繭玉をかざると共に木の小枝に七個さしておくか、団子を一個ずつ半紙に包んで、十四日の夜、今年の養蚕の大当たりを危難して養蚕の主体である主婦が道祖神、蚕影神に七カ所お参りするわけで、一般に七所参りと言われた。

七所の場所が地区により、それぞれちがっていたと思われるが、小屋敷・三日市場の上の人々は、荒井・松尾神社前・恵林寺赤門の西の土手のはずれ・馬宿・町屋・宿と三日市荒井の七ヶ所の道祖神に団子を上げて蚕の豊作の祈願をして巡ったものである。

おぼこさん（お蚕）を飼育するむずかしさと、蚕児を大切にしていた昔の主婦の心が、切ないまでに祈りとなって、現れたものである。
(原文のまま)

以前にもお伝えしましたが、この「松里の昔ばなし」がA4判になって復刻することが決まりました。令和4年度中に、松里・井尻両公民館と松里地区内の小中学校3校に配られます。松里公民館に届きましたら、公民館だよりでお伝えします。多くの方に読んでいただきたいと思います。

公民館の使用について

公民館の使用について 使用申込先 館長（電話で申し込んでください）
使用時間 午前9時から午後10までです。 使用の1ヶ月前から1週間前まで「使用申請」を受け付けます。

4月からは、使用申込先が変更になります！

※ 4月の公民館だよりで確認してください。

松里公民館 館長 飯島 節生
主事 小宮山茂樹